

令和元年度第1回滝沢市上下水道事業経営審議会

日 時：令和元年11月28日（木）

午後1時30分～午後3時40分

場 所：滝沢市役所分庁舎2階第6会議室

1 開 会

2 市長あいさつ

3 議 事

(1) 報告事項

ア 平成30年度滝沢市水道事業会計決算について

イ 令和元年度滝沢市水道事業の進捗状況について

ウ 平成30年度滝沢市下水道事業会計決算について

エ 令和元年度滝沢市下水道事業の進捗状況について

オ 社会資本総合整備計画の事後評価について

(2) 審議事項

ア 令和2年度滝沢市水道事業会計予算基本方針について

イ 令和2年度滝沢市下水道事業会計予算基本方針について

4 その他

5 閉 会



## 1 開 会

○高橋水道総務課主任主査 若干ちょっと早いのですが、本日はお忙しい中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

本日進行担当をいたします事務局の水道総務課の高橋と申します。よろしくお願いいたします。それでは、ご案内の時刻よりちょっと早いのですが、お揃いになりましたので、始めさせていただきます。

ただいまから令和元年度第1回滝沢市上下水道事業経営審議会を開催いたします。

## 2 あいさつ

○高橋水道総務課主任主査 開会に当たり、滝沢市長、主賓了よりご挨拶を申し上げます。

○主賓市長 どうも皆さん、こんにちは。滝沢市長の主賓了であります。

令和元年度第1回市滝沢市上下水道事業経営審議会の開催に当たり、ご挨拶を申し上げます。まずもって審議会委員の皆様におかれましては、お忙しい中ご出席いただきましてまことにありがとうございます。御礼申し上げます。

平成30年度の審議会において、上下水道事業の経営について5回にわたり審議をし、そして答申をいただいた結果、無事後期経営計画を策定することができました。重ねて感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

本日は、上下水道事業における平成30年度決算及び令和元年度事業の進捗状況についてご説明をさせていただくほか、令和2年度予算の基本方針について皆様にご審議いただくこととしております。滝沢市水道事業ビジョンにおける「安心・安全」、「安定・強靱」、「環境・持続」の3つの施策及び滝沢市総合計画の都市基盤部門計画に掲げます基本施策、持続可能な水道経営を実現するため、委員の皆様におかれましては忌憚のないご意見、ご提言をお願いしたいと存じます。

1点だけ特にご注意いただきたいことを今申し上げさせていただきます。それは、実は昨日滝沢市内のすぐこの近くなのですが、交通死亡事故が発生をいたしました。元年ではありますけれども、令和に入ってから2件目の死亡事故であります。誰も意図して死亡事故を起こしているわけではないと思う。それを防ぐためには、どうしても普段から常に常に緊張感を持って運転をしなければいけないですね。ただ、その緊張感を常に持って運転

をするというのはなかなか難しいことでありまして、時に触れて、その時々しっかりと交通安全について確認をし合う、こういうことが大事だというふうに思っております。皆様方にもさまざまな人に会われる機会があると思えますけれども、ぜひともその注意喚起ということ、交通安全に関する注意喚起、これを怠りないようにお願いをいたしたいなというふうに思っております。

結びに、上下水道事業の健全な経営について、より一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。挨拶といたします。よろしく願いいたします。ありがとうございます。

○高橋水道総務課主任主査 続きまして、本日出席の職員を紹介します。

上下水道部長の太田城人です。

○太田上下水道部長 太田でございます。よろしく願いいたします。

○高橋水道総務課主任主査 水道整備課より、水道整備課長の及川竜悦です。

○及川水道整備課長 及川です。よろしく願いいたします。

○高橋水道総務課主任主査 総括主査の長谷川唯倫です。

○長谷川総括主査 長谷川です。よろしく願いいたします。

○高橋水道総務課主任主査 本審議会の事務局長であります、水道総務課より、水道総務課長の斉藤明德です。

○斉藤水道総務課長 斉藤でございます。よろしく願いいたします。

○高橋水道総務課主任主査 主事の荒井ひかるです。

○荒井水道総務課主事 荒井です。よろしく願いいたします。

○高橋水道総務課主任主査 下水道課より、下水道課長の古前田聡です。

○古前田下水道課長 古前田です。よろしく願いいたします。

○高橋水道総務課主任主査 総括主査の小林純子です。

○小林下水道課総括主査 小林です。よろしく願いいたします。

○高橋水道総務課主任主査 以上、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、ここで市長はほかの用務がありますので、退席させていただきます。

○主濱市長 よろしく願いいたします。

〔市長退席〕

○高橋水道総務課主任主査 それでは、続きまして本日お配りしております資料の確認をさせていただきます。

まず、次第がありまして、水道事業資料として水道資料1から4番、そして下水道事業

資料として1から7まで。以上、おそろいでしょうか。不足がございましたら、恐れ入りますが、お知らせ願います。

次に、会議の成立をご報告いたします。本日の審議会は、委員9名中6名の出席です。審議会条例第5条第2項の規定により過半数に達しておりますので、本日の審議会が成立したことを報告いたします。

続きまして、本日の日程につきましては、次第のとおり上下水道合わせまして報告事項5件、審議事項2件を予定しております。

それでは、これより審議会の議事進行と議事録署名人指名につきまして、山田会長に取り扱いをお任せいたしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○山田一裕会長 それでは、どうぞよろしくお願いいたします。

本日の審議会の議事進行につきましては、ご出席の皆様のご協力をお願いいたします。

それでは、議事に入ります前に議事録署名人を指名させていただきます。指名の方法は、私のほうから指名するということよろしいでしょうか。

〔「はい」と言う人あり〕

○山田一裕会長 ありがとうございます。それでは、ご異議なしということですので、本会議の議事録署名人につきましては、及川安委員と佐藤定美委員を指名いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、ただいまから議事に入ります。当審議会の議事に関しまして、滝沢市上下水道事業経営審議会運営規程第6条により、原則公開することとなっておりますが、例外的に非公開とする場合があります。本日の案件が公開に適するかどうかについて、事務局から説明をお願いいたします。

○斉藤水道総務課長 それでは、まず最初にですけれども、盛岡広域連携ブロック検討会を事務部会活動の一つといたしまして、審議会につきましては広域ブロックの会議については公開というか、入室していただいてやっておるところでございますので、本日は盛岡市から2名、八幡平市から1名、雫石町から1名、矢巾町から1名ということで、事前に入室させていただきました。市の広報で、及びホームページで開催案内をしておりましたが、傍聴希望者は1名でございます。原則公開としておりますので、この会議を公開としたというふうを考えております。

よろしくお願いいたします。

○山田一裕会長 ありがとうございます。

それでは、委員の皆様から何かご質問とかご意見とかございますか。よろしいですかね。

〔「はい」と言う人あり〕

○山田一裕会長 ありがとうございます。

それでは、本日の会議について事務局からの説明のとおり公開で行うものとし、傍聴者の入場を認めます。入室をしてください。お願いいたします。

〔傍聴者入室〕

○山田一裕会長 傍聴人の方に申し上げます。会議開催中は静粛にし、拍手その他の方法により、言論に対して公然と可否を表明することのないようお願いいたします。

### 3 議事

#### (1) 報告事項

- ア 平成30年度滝沢市水道事業会計決算について
- イ 令和元年度滝沢市水道事業の進捗状況について
- ウ 平成30年度滝沢市下水道事業会計決算について
- エ 令和元年度滝沢市下水道事業の進捗状況について
- オ 社会資本総合整備計画の事後評価について

○山田一裕会長 それでは、議事に入ります。

報告事項1、平成30年度滝沢市水道事業会計決算についてを議題といたします。事務局より説明をお願いします。

○斉藤水道総務課長 それでは、報告事項1の平成30年度滝沢市水道事業会計決算について、私のほうからご報告させていただきます。着座にて失礼いたします。

それでは、お手元にごございます水道資料1に沿って説明させていただきます。1枚めくっていただきまして、事業の概要についてでございます。これにつきましては、水道事業ビジョン及び中期経営計画に沿いながら事業を実施してまいりましたけれども、まず一番大きいところは平成30年度、29年度からの大きな違いといたしまして、審議会でも以前にはお話ししてございますけれども、一本木簡易水道が統合して上水道の一部というか、なっております。ここが一番大きい変化ということになっております。これにつきましては、何年か前から随分検討をやりつつ統合に準備してまいりましたものでございます。

その中で、あと水道総務課的には環境に配慮した持続可能な水道ということで、顧客サ

サービスの向上として進めてございました。平成29年の4月に開所した上下水道お客様センターで料金徴収関係の包括委託事務を継続して行っておりまして、30年度が2年目ということで、5年の予定で包括委託してございますけれども、今年が中間年にはなるのですが、それが2年目であったということ、あと滝祭ということで、前の産業まつりなのですが、これについて広報活動の一つとして実施してございます。財政面につきましては中期経営計画、この審議会で揉んでいただいて、それで3月くらいに答申をいただいて5月の年度明けでしたけれども、5月に議会のほうに報告し、後期計画ということで策定してございます。あと職員研修関係でございますけれども、これにつきましても年間12科目、延べ12人の職員が行って知識等の向上に努めておりました。

下段になりますけれども、(1)、建設改良事業等についてでございますが、代表的なものを3つほど挙げておりますが、この資料の14ページになります。14ページめくっていただきますと、左上に建設改良工事の概況ということで130万円以上の工事でございますけれども、そういった工事がされております。この建設改良工事が全て水道事業の資産に変わっていくことになります。

前のほうに戻りまして、2ページに戻りますが、業務についてでございます。これにつきまして給水人口が1,010人ほど増加しているということと、給水普及率が97ということ。増加の数字が並んでいますけれども、これにつきましても先ほどお話ししました一本木簡易水道の統合によるものが影響ということで、戸数としては300ちょっとなのですが、給水人口としては1,010人、これが大きいウエート。

あと大口需要家、今までなかったところで岩手山青年の家というところがあるのですが、そこが上水道使うことになりましたので、これが簡水統合のタイミングと一緒にはなりましたけれども、こちらも市内の需要家としては3番目くらいの大きい使用量になっています。金額で0.5%くらいの利用率を占めるので、大きい変化の一つであるということです。

そして、3の計理についてでございますが、これにつきましては後段にある7ページにございます損益計算書、こちらのほうで1年間の営業成績を表してございます。右下のほうにある当年度純利益、それが30年度の水道事業経営として生んだ純利益になります。1億3,400万円ほどになっております。これにつきましては、後々利益処分という形で資産のほうの建設改良積立金とか減債積立金、起債の償還の原資になっていくものとなっております。

16ページになりますけれども、16ページ開きますとこちらのほうに事業収益に関する事項と（3）、費用に関する事項ということがございます。ここの中で目立つのが（2）の事業収益に関する事項でございますと、真ん中辺になるのですけれども、収納等事務収益というのが収益、中で減っている、皆減という形ですっかり減っているのですけれども、これにつきましては、これも一本木の簡易水道の統合によって、前の簡易水道会計のほうから上水道会計のほうに負担金という形で納めていただいたものが統合によってなくなったということでございます。

費用のほうで目立つのが業務費、受託工事費になりますけれども、これは水道事業直接の事業ではなくて、滝沢市の水道事業が請け負った形で負担者がいて、それを代行して今やっているような形ですので、滝沢市水道事業として毎年の変化を見るというのはなかなか難しいものなので、ある年ない年規模の多寡によって、ここは大きく変動するものでございます。

あと減価償却費と資産減耗費でございますけれども、減価償却費も同じように簡易水道の統合をしたことによって、その資産が増えた、その最初の減価償却費が発生したということで増えたのが一番大きい原因になっております。資産減耗費につきましても、これも配水管の布設替えとか、そういったものが毎年あるのですけれども、ここも布設替えの距離等によって大きく変動するものでございます。

以上、報告書の事業概要1ページ、2ページに関するものを後段に出てくる資料等で説明させていただきました。

あとこの資料によってちょっと順番に説明したい、補足したいことだけお話させていただくのですけれども、4ページ、5ページ、こちらについては決算の状況ということで、3条予算、4条予算。営業予算と資産の取得状況の予算ですけれども、これにつきましては内部留保資金ということで一番下段、下の欄に文言で不足する額は減債積立金とか建設改良積立金、そして、最後は過年度損益勘定留保資金で補填したというところですが、減債積立金とか建設改良積立金については損益計算書とか貸借対照表のところではわかるのですけれども、補填した額の内部留保資金、損益勘定留保資金につきましては出てくるところはございませんので、参考までに30年度末現在どのくらいあるかということで約9億2,800万ほど内部留保資金としてございます。貸借対照表では現金預金のところのうちの一部ということになります。

続きまして、10ページになりますけれども、貸借対照表でございます。ここで参考まで

にお話しするんですけれども、左のページ、10ページの1の(1)有形固定資産、これについては93億くらいの資産ということになってございますが、増加分、去年30年度に取得した資産は大体4億4,000万。減少したものが1億4,000万ほどで、これは配水管の除却したものとか浄水施設の関係で除却したもので資産減となっております。

続きまして、下の段のほうの2の流動資産の(2)の未収金でございますけれども、これにつきましては、未収金のところですね、お金まだもらえていない人ということになりますけれども、これについては3月31日で会計上びちっと切ってしまうので、滝沢の場合25日が上下水道料金を納めていただく納期限となっておりますが、月またぎに入ってくるのが結構ありまして、月末、年度末でちょっと1,700万ぐらいなのですけれども、平時の毎月の報告いただいているお客様センターからいただいているそれでいくと、過年度分としては大体30万円ほどが未納分として手当てしていかなければならないものですので、ここにある1,700万のお金が入っていないという感じではございません。

あと量水器については148万ということなのですけれども、これは水道事業者の場合は在庫、水道メーター在庫分です。127ほどございます。

あと右のページ、11ページになりまして、未払金4,900万と860万ほど、合計で5,800万未払い金あるようで、年度末あるのですけれども、これについては3月末で支払いが確定したものを4月請求処理いただいて払っている分になります。このうちのほとんど、540万ほど以外は4月中に全部支払い済みでございます。未払いはございません。残りの540万ほどは消費税の部分で、消費税については6月末までの申告納付で納めておりますので、最終的には未払い金は発生しておりませんということです。

続きまして、15ページに入ります。ここの関係ですけれども、先ほどからお話ししていた一本木の統合したという点なのですが、水道料金でどのくらいのウエートがあったかということで業務関係ということでお話しするのですが、30年度年間大体10億円ちょっと水道料金があったのですけれども、そのうちの2,600万が簡易水道分でございます。全体で占めると大体2.9%になります。これは当然料金、滝沢の場合は均一料金ですので、水道使用量、有収水量になりますけれども、それも大体同じパーセントで大体2.9%がこの業務量の中にある全体の中の2.9%が一本木簡易水道の分だというふうに捉えていただいてよろしいかと思えます。

○山田一裕会長 すみません、今何ページ。

○斉藤水道総務課長 ごめんなさい、15ページです。

○山田一裕会長 15ページ。

○斎藤水道総務課長 全体のお話になるのですけれども、この時点では一本木の統合分が決算としては見えてこないのです、参考までにここにある数字の中の大体2.9%は一本木簡易水道分であるということで説明させていただきました。

続きまして、17ページになるのですけれども、企業債の概況ということで借金なのですが、今年だけの説明になるのですけれども、ここも一応一本木の分ということで参考にお話しさせていただくのですけれども、今現在企業債大体35本企業債発行しているのですが、そのうち一本木簡易水道から引き継いだ分が8本というか、8件ございまして、全体で年度末残高で22億6,000万ほど借金があるのですが、このうち8億3,000万ほどが一本木分になりますので、率にすると36%くらいが一本木簡易水道の分ということになります。

資料1の分の説明は以上でございます。

続きまして、それに関係する水道資料2というものです。これにつきましては議会のほうで決算認定を受けているところでございますが、9月の決算議会の際、監査委員さんのほうから議会に対して意見書という形で出したものをそのまま今回はつけさせていただきました。中身につきましては、今の決算、いろんな数字ございますけれどもその評価をいただくとともに一番最後のページに、35ページですけれども、この審査意見書ということでいただいております。かいつまんでお話しすると前年度に比較して収益が7,200万ほど増加して、配水管関係の設計業務委託料及び減価償却費の増によって総費用が1億ちょっと増えていることによって収益としては3,400万の減となっていたが、経営的には安定した純利益を確保していて、おおむね順調に推移したと認められるということです。

あと平成28年度から重点的に実施してきた給水管や配水管等の漏水調査によって、確認された漏水箇所とか大規模な老朽管敷設替工事が成果が出て有収水量も上がっていると、有収率も上がっていると。それを受けて安定で強靱な水道事業を維持する上からも順次計画を引き続きしていってこれということでございます。

これが監査委員さんのほうで会計の審査を含めた意見でございました。

以上で、水道事業の決算についての報告でございます。

○山田一裕会長 ありがとうございます。

ただいま事務局から説明がありましたが、平成30年度滝沢市水道事業会計決算について、何かご質問、ご意見があるようでしたらお願いします。

はい、お願いします。

○及川安委員 有収率というのは大体、どこかでは限界があるわけですがけれども、最終的にはどの辺を目標に事業を行って……目標としては、絶対100はないと思って、大体どの辺を……あとは、多分これ率高ければいいとは思うのですが、それと費用対効果も考えないと、ただただこのパーセント上がって、それ以上に費用もかかったのではあれだし、大体どの辺が限界と見ているのか、その辺の見解をちょっとお伺いしたい。

○及川水道整備課長 限界と見ている……有収率という考え方とあわせて有効率ということで、お金でいただける水代、水のほかに有効に水が使える線というのを含めて、水道事業の成果にしたいということで、今お話あった費用対効果という点については、どうしても管が古くなっていきますと漏水が増えていくと。なので、どちらかというところを上げていくというか維持、同じ水準を維持していくことが効果が上がっているのかなという判断はしております。

どうしても年々管が古くなっていきますので、直したとしてもそれ以外の部分がどうしても古くなって漏水というのが発生してきますので、この数字を維持していくという部分で費用対効果という考え方をもって有収率も今の数字を維持していればかなり効果が出るのかなという考えではおりましたが。本当は100までいければいいのですが。

○山田一裕会長 ちなみに、今料金徴収の業務委託されていますけれども、その中に例えば漏水調査なんかの業務も含まれているのですか。それともそれは事業者のほうでやっているのですか。

○及川水道整備課長 別事業です。

○斉藤水道総務課長 業務委託の中には当然入ってまして、検針するたびに前月と前々月との差も出ているのですけれども、いつも10トン使っているところが30トン使った、逆に使っていないとか、あと前年度同時期の比較とか、それはシステムのにもそういう仕様になっているというのもあるのですが、それは随時わかった時点でそのお宅のほうに業者さんのほうでお話しして何か変わったことはないですか、例えば最近の例だと家族がふえたとか、娘が泊まりに来ていたとか、それで増えていたり。あと思い当たらないのは全部閉めてみて、それでもメーター回るのであればとか、そういった形で料金側のほうで個別を、うちのほうの……

○及川安委員 埋設管の話です。

○斉藤水道総務課長 そうすれば無いです。

○及川水道整備課長 別個に発注して本管のほうの漏水を調査するという2つの形で。

○山田一裕会長 業務委託をすることによってその発見率というか、漏水に対するアクセスが早くなったとか、そういう効果というのは出ているものなのですか。

○斉藤水道総務課長 はい、それは出ています。

○山田一裕会長 そうですか。わかりました。ありがとうございました。

○及川安委員 一般的には、さっきのご回答では、これを維持するということに主体を置いているということですが、全国的にも大体平均的にはこんな感じなのですか、例えば95ぐらいのところは平均なのか、93が平均なのか、これがうちのが大体こんな感じでこれ以上上げようとするとならば費用対効果でも、直すよりは金出たほうがいいのか、直してやったほうがまだ費用対効果が上がるのか、そのパーセンテージで一般的には何パーセントぐらいが平均的なのでしょうか、その線を知りたいのだ、どの辺が費用対効果のあの線なのかなど。

○及川水道整備課長 平均で行けば有収率、下手したらもうちょっとってことは受けます。全体の平均でいえば。

○及川安委員 いいほうなの。全国的に。

○山田一裕会長 いや、これはどういう統計情報かというのははっきりさせておかないと。一応、料金改定もディスカッションしてきたときに例えば近隣の岩手県内の状況であるのか、いろいろ統計情報が示された中でその議論もあったと思いますので、こういう機会に、例えば岩手県内ではどういうレベルにあるかというくらいはお示しいただいたほうがわかりやすかったかもしれないです。県か、あるいは同規模の事業所の平均値かな、全国平均値とかたしかあったと思いますよ。

○及川水道整備課長 ちょっとそのお示しできる具体的な数字、資料を今準備しますので、ちょっとお待ちいただけ……

○山田一裕会長 大丈夫、大丈夫。

○及川安委員 参考に聞いただけだから、すぐ別に回答は……

○山田一裕会長 お願いします。

○太田上下水道部長 過去に平成20年頃、漏水の調査とかに力を入れた時期がございまして、そのときで過去最高が93.8まで。

○山田一裕会長 すごいですね。

○太田上下水道部長 目標はまずある程度一定のレベルまでいったということで、集中的にやるのはやめて、徐々にまた下がってきたような状況で、平成28年で88.5まで下がって

しまったということで、また少しずつ漏水防止に力を入れてきたというところで30年度は90を超えたということで。あと経営計画での目標は減って4年で92%ということで一応、目標を立てているところです。費用対効果というのなかなか判断が難しいところはありません。

○山田一裕会長 どうしても工事が入って、捨てなければいけない部分というのは出てきますよね。だから、水道工事のいろんな進捗状況で、どうしても無駄になる水が発生するのだということを考えれば、92%を何とか維持してきていけば、あるいはそれに近い値で進めている中においては経営的には問題ないでしょうという理解でいいのですよね。ありがとうございました。

ほかはいかがでしょうか。

お願いします。

○紺野光子委員 わからないということで教えていただければと思います。

資料1のページ7に財務諸表というところの欄に営業収益(3)、その他営業収益、全体の11.2%ぐらいになっている状況なのですけれども、その中で18ページのその他営業収益の細かく書いていますけれども、ほとんどこれは毎年同じぐらいの数値が動くのでしょうか。結構な収益の部分載せて11.2%、その他営業収益というところになっていたので、今後どのように推移していくのか。

○斉藤水道総務課長 営業収益で9,400万ほどあるのですけれども、構成としては手数料、工事に入るための審査手数料であったり完成手続手数料、あと水道加入金、これから水道を引きたいという方、この2つは連動している数になります、件数。それで、ここは例えばどこかに開発団地ができるとか、そういったのがある、あとそこが終わるタイミングとかですね、そういうので変動していくのです。

そのほかに他会計負担金というのがございますけれども、これは上下水道一緒に一体として共通している事務があるわけですが、それについて水道事業のほうで一旦負担しているものについて、これについては下水道も負担しているものだよというほうを、後で計算してというか、それをその他収益ということで入れています。5,000万ちょっとあるんですけれどもこれについては大体変わらないというふうなことです。

○紺野光子委員 では、大きなことが動かなければ大体同じようなパーセンテージで推移していくと。

○斉藤水道総務課長 そうです。水道加入金が大きいのので、やっぱり手数料は単価が安い

ので。加入金は件数、口径も関係する。その辺の動きで変動すると。

○紺野光子委員 あともう一つよろしいですか。

○山田一裕会長 はい、どうぞ。

○紺野光子委員 どこの企業でも借金はあるのですけれども、滝沢市の場合の借金は全国的に比べてみて、借り入れが多いのか、少ないのか、もしくはどのような……

○山田一裕会長 水道事業の借金。

○紺野光子委員 はい、借金、いろんなところから、公共的なところから。

○斉藤水道総務課長 一応なかなか比較するのは難しいという前置きするとあれなのですが、これから水需要が増えていくところであれば当然自前のお金があれば別に。なければ借金しながらということになりますし、あともう人口も増えないし、布設替えでお金かかるのですけれども、そういったところだと返済のほうは早く進んで少ないとか、同じ、例えば10万人規模でもその背景によって変わってくると思います。

ただ、経営計画の中でお話あったかもしれませんが、借金するにはやっぱり返す能力がないとつukれないですので、そういった給水収益に対する借金の割合だったりとか、あと現金預金とか内部留保を持っている資金力の関係とか、そういうのを監視しながら借金できるかできないかはそれこそ隣町でも違うみたいな感じにはなってくると思います。ですからどこの市町村、事業体であってもその辺を目安に借金というか、借金して……

○紺野光子委員 滝沢では返せる……返せるといえば変ですけれども、そういう目途と言ったらいいか……

○斉藤水道総務課長 それをやらないと返すのにお金が回ってしまって、資金不足になったら大変なのですけれども、それを見込んで計画も作っていかないと、ものによっては借金していけないと、極端な……

○紺野光子委員 ですので、広報を見ている限りでは、円グラフとかいろんなので見るのですけれども、市民としてはそれを読めないというのが本音なものですので。

○斉藤水道総務課長 借金を自分個人的なことと考えれば、これはこれで……

○及川安委員 くどい話ししないで、返せるくらいの借金なのかと聞いているわけだから、内部留保とか何も問題ないと言えればいいだけの話だよ、何だか回りくどいんだ。

○紺野光子委員 いや、いいのですよ。ただ、表でも市民が見られる表であってほしいなといつも思いながら。

○及川安委員 でも、グラフ1つで判断するって難しいですね。

○紺野光子委員 そうですね。そのとおりだと思います。

○山田一裕会長 今の話というのはもう率直に、よく広報などで出ているそういう事業経営のいろんな統計情報を出されている場合に、市民がこれをちゃんと認識して理解できるものになっているかどうかという、そのちょっと念頭に置きながら情報公開をしていただくということのご指摘だというふうに受けとめていただいたほうがいいです。

○紺野光子委員 ありがとうございます。

○山田一裕会長 ありがとうございます。

それではほかいかがでしょうか。

はい。

○佐藤定美委員 未収金について、滝沢市の周辺市町村のレベル、どのぐらいなのか。

それから、あとその未収金の回収をどういうふうに行っているか、この2点お伺いしたいと思います。

○斉藤水道総務課長 他市町村との比較ですけれども、これ聞かなければ難しいというのがありますけれども、お話ししたように公表されている財務諸表とか見ても実はわからないというのがあるのですけれども、同じぐらいなのかなどは思っています、対策につきましては、税金と違って水道の場合、電気もそうですけれども、最終的にとめるという、給水停止してしまうと、そういう段階までに幾つもの手順はあるのですけれども、それを確実にやっていくのと、あとは一番難しいのは転出の場合です。ドロンといなくなるとか、そういうところの対策は今後更に考えていかなければいけないのですけれども、実際使っている方の継続した滞納というのはございませんので。新規に転入された方が滞納を始めてしまったとか。それは早めに対策をとって減らしていくと。滝沢の場合特に転出入が激しいですので、新しい市民、出ていく市民、それぞれ滞納の原因があったりするのでそこは長期化させないようにお客様センターと一緒に取組んでいくということです。

○佐藤定美委員 各市町村との連携というか、例えばどこに引っ越したかというのはある程度そういったのは当然やっている……

○斉藤水道総務課長 それはやっています、転出情報とかはありますので。そこは追えるだけというかやっております。

○山田一裕会長 ありがとうございます。ちょっと時間もあれなので。すみませんが、閉めさせていただきたいと思いますが、報告事項1、平成30年度滝沢市水道事業会計決算に

については以上にさせていただきますが、ご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○山田一裕会長 ありがとうございます。

それでは、報告事項2の令和元年度滝沢市水道事業の進捗状況についてを議題として、事務局より説明をお願いします。

○斉藤水道総務課長 続きます、水道資料3でございます。滝沢市水道事業の進捗状況でございます。3—1ページになりますけれども、これについてはそのまま書かれているとおりのものですが、ちょっと時間も押している、特徴的なところだけお話しさせていただきます。

1ページの真ん中辺に、これはアナウンス的にもなるのですが、真ん中よりちょっと下に災害応急対策の推進というのがございます。これ10月の17日だったと思っておりますけれども、盛岡市さんと連絡管操作訓練を行っております。あとは、1枚めくっていただいて、周知の仕方も含めてですが、水道広報を作ったり、あと滝祭、昔でいう産業まつり、それに出展して市民の方々と触れ合いながらといったのが、500人以上今年は来ていただきました。

あとは進捗状況の中の一つにはなると思っておりますけれども、消費税が10月から改正されて、これにつきましても10月使用分から11月の請求から、上げさせていただく形ですが、これにつきましても滝沢市の広報、あと水道事業で出しているちやぐ水だより、あと検針時点で各戸に配布するもので周知とさせていただいております。

健全化につきましては、未納の関係、未収の関係出ましたけれども、10月期の現在ですが、昨年同比で2.01%増。未収額が減っているということですので、いい傾向なのかと思っております。

あと人材育成につきましては経営計画の中と研修計画含めてそちらに沿って新しい、4月異動になって来た新しい職員を含めて職員の知識向上に努めているところであります。

あとは台風19号、広域連携ですが、19号発生時には、7日間宮古市のほうに給水車の応援要請がございましたので、水道整備課の職員が宮古市重茂のほうへ行ってその体制に入って応援給水してきたということがございました。詳しい事業については今回書かれているとおりですので、あとは3—5ページですが、この中に工事関係あるのですが、地方債、右のちょっと下のほうに地方債50というのがあるのですが、これが先ほどお話ししたのですが、借金ということで、老朽管更新については

5,000万の地方債を組んでいるということでございます。

あと3-7ページに行きまして、12月補正、今度の補正予算のなった時点ということで作成させていただいておりますけれども、ここで純利益が7,790万9,000円となっておりますけれども、これ当初予算に比べて360万ほどふえております。原因は4月の人事異動によって若い方というか、給料単価の低い方が入れかわったことで利益が若干ふえておる状況です。それ以降の貸借対照表は予算執行した場合の中身になってございます。

一番最後に、A3縦で令和元年度施工箇所位置図ということで一覧表で示してございます。これが今年度の工事関係の資料となっております。

以上で進捗状況でございました。

○山田一裕会長 ありがとうございます。

ただいまご説明ありました内容につきまして、ご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

お願いいたします。

○工藤恒夫委員 3-2ページですけれども、官民連携・広域連携の推進ということで、台風の際とかその辺の対応しましたというふうに今見ます。昨今は気候変動によって日本全国で水道含めて断水がすごく多くなってきて、そして国民、県民、住民ですね、いろいろちょっと時代が変わってきた感じがしますよね、ここ数年、昨今。

それで、今年の台風災害とか豪雨災害を含めたちょっと今までと被害の状況も違うという感じで、何かその辺の滝沢市としての対策等もいろいろ全国区の状況も含めて考える必要があるのではないかなと思うのですけれども、その辺はどのような考えなのでしょうか。

○及川水道整備課長 災害時の広域での……

○工藤恒夫委員 そう、広域も含めて、災害の状況が今まで考え……ダムがもう水がいっぱいになって水も出さなければならないとか、そういうことというのは今まで想定なかったですね。

○及川水道整備課長 そうですね。

○工藤恒夫委員 そういうことも含めて滝沢市さんの水道事業主さんとして、全国では結構断水になってしまっているのですよね。そういうことを考える必要があるし、今回の災害状況の調査をやっぴり市で考えて今後そういう被害が少ないような対応策考える必要があるのではないかなと思うのですけれども。

○及川水道整備課長 そうですね……

○山田一裕会長 では、部長から。

○太田上下水道部長 地震対策というと耐震管ということで整備を進めているのですが、なかなか大雨の対応というのは難しい面があります。ほとんど道路に埋設されていますので、道路自体が流されて断水になっているというケースが非常に多い。ただ、耐震管というのは仮に道路が流されても水道管だけで自立して残るといふふうには言われているのです。そういう意味で今耐震管、耐震率を上げること自体万一の土砂対策にもある程度対策にはなっているのではないかなというふうに考えております。

○山田一裕会長 ただ、それはいわゆる今まで計画的に進めていく耐震対策であったり、あるいは災害対策。おっしゃっているのは、どうもこの何年かの異常な気象で起こっている他の県の災害状況を見ると、滝沢市としてもそういった今まで考えられないような何か水害などの害が起きたときのために、今から何か考えておくことはないですかということなのです。

○太田上下水道部長 滝沢市の場合は、地形的には、例えば大きい河川の氾濫で水没するとか、そういった被害というのはあまり考えられない。どちらかといえば土砂崩れとか道路が流されるとか、そういうものは想定はせざるを得ないと思いますけれども。

○山田一裕会長 基本的にあれですよ。表流水というか河川の水を原水としてないので、水が荒れて取水するような害が、害といいますか、それが妨害、障害がそこではまず起きにくいというのがまず利点ですね、本市の。

ただ、おっしゃるように土砂崩れで、あるいは土砂が削られて水道管が破裂したりとか、そういったケースが起こり得るときにその対策としてしっかりとできていますかということなのです。

○太田上下水道部長 例えば1カ所やられた場合に反対から水を回せるとか、そういった複数から水を回せるようにするとか、そういった対策も徐々にやっております、配水管の整備とか。そういったものが対策になっていくと思います。

○工藤恒夫委員 全国で断水が結構起きて避難者がみんな困ったという報道がいっぱいあると思うので、その辺の全国がどういうふうな状況でそういうふうな断水になっているのかということも、やっぱり調べて滝沢市さんに該当なければそれでいいですし、該当がありそうであればちょっとその事例を参考に何かこう対策を考えてほしいと思います。

○太田上下水道部長 こういった規模の災害があると調査結果というのが回ってきていますので、それは見て、どういう原因なのか把握できるかと。あとうちで怖いのは停電が一

番怖いのかなと。停電対策はきちんとしてしていかなければと思います。

○山田一裕会長 ポンプが止まっちゃうと困ってしまうからね。

○及川安委員 強みはダムとか川からほとんど取水してないというのがよそに比べると強みなのです。

○山田一裕会長 強みなのですよね。これは滝沢市さんの大きな強み。あとは盛岡市さんとか連結をして、緊急時の水の回し方というのが広域連携で今調整できていますから、そういう意味でも怖さというのは大分軽減されたのではないかなと思っていますけれども。

○佐藤定美委員 今のお話しの中で停電が一番怖いと部長もおっしゃいましたけれども、やっぱり電気は当然止まるものですね。ですから、やっぱり重要な場所においては病院みたいに自家発電施設が必要になると思うのですけれども、上下水道の場合もそういった施設というのはあるのですか。

○太田上下水道部長 あります。

○佐藤定美委員 どこですか。

○太田上下水道部長 ほぼ主要な施設には全部あります。東日本大震災のときも丸2日ぐらい停電したのですけれども、数時間して……

○佐藤定美委員 であれば余り心配はないですね。部長さんが心配するほどではないでしょう。

○太田上下水道部長 あとはその期間とか、あとは発電機があっても燃料がないと役に立たないので、輸送の関係とか、そんなところはきちんと整備していかなければいけないです。

○山田一裕会長 やっぱり事業所の人やがどんどん、どんどん変わっていくので、過去の大震災のときもそうですけれども、少なからず起きている震災経験とか、あるいはそういうのをぜひ新たにあらゆる職員の方々に伝えていく、そういう情報共有の機会であったりとか、そういうのを日頃から続けていただくと我々も安心だというふうになると思います。

そのようなお答えをしていただければなど、大丈夫だと一言いただいたらいいのかなと。お願いします。

○田村武委員 大湧口、あそこは水が湧いてくるじゃないですか。あそこに例えば溜めたやつを、電気も何もないときに配管したら高低差で大体網羅できる水が、何て言うのだろう、こうバケツにホースやって低いところに流れるではないですか。そういう範囲で何か災害時とか何かどこか溜めておいてやるとか、そういうのは素人の考えだけでも、

やったら結構網羅できるのではないかと思うのだけれども、そういうのというのはありますか。

○太田上下水道部長 大湧口自体は湧き水なのですけれども、今では使っていない。

○田村武委員 そうですね。それを配管してやったら結構な範囲にパスで水が出せると思うのだけれども。

○及川水道整備課長 そうですね、おっしゃるとおり、水量も豊富にありますので、その水を活用する方法ということで今年度からその活用方法を検討始めていたところですので、来年度以降皆さんのほうにも具体的な形で活用方法についてもお知らせできるようなものができ上がってきたら、またこういうような場でお知らせしたいなど。

○田村武委員 電気も何もなくても水が流れて、蛇口ひねったら出るから、最高に滝沢は安心です。

○太田上下水道部長 ただ、水道の場合は塩素を入れなければならないので。

○山田一裕会長 事業所としては、法律を守らないといけないので、そういうのはいろいろ工夫していただいて、ぜひ安心材料を日頃から丁寧に広報していただければと思います。

○佐藤定美委員 そうですね。無責任な言い方をすれば、障害物についてね、水道橋ってあるんですよね、水道橋。ああいった発想もやっぱり人なのでないかと思うのですよ。

○及川水道整備課長 そうですね。そういった今皆さんから出されたような意見、災害時の対応も含めて、今年部長も参加している全国でそういった事例のいろんな発表の場にもうちのほうで参加させていただいて、過去何年もなかったところに50年間もなかった災害が起きていると。そういったときの対応とか、そういう事例発表の場には積極的に参加させていただいて、それを参考にして今後の対策に考えていくというようなものをおこなっておりますので、そういった面でも具体的にお知らせできるものがあれば来年以降お知らせできるかなと。

○山田一裕会長 はい。

○工藤恒夫委員 さっき自家発電施設の話が出ましたけれども、自家発電施設というのは普段使いませんので、定期的に例えば1年に1回動かしてみるとか、そしてその自家発電から送られる電線が、例えば電柱が倒壊していて電気が行かなかったとか、そういうことがないようにやっぱり1年に1回ぐらいずつ定期点検みたいなことをやっているのですか。

○及川水道整備課長 ええ、もちろんやっています。

○工藤恒夫委員 整備やっているのですね。

○及川安委員 毎月やってなかったか。

○及川水道整備課長 定期的に。毎月ではないです。毎月のもので年間に何回かやるものとあります。

○及川安委員 庁舎は毎月……

○及川水道整備課長 庁舎は毎月やっています。

○太田上下水道部長 この間の19号のときも一時停電がありまして、きちっと発電機が動いていました。

○山田一裕会長 では、よろしいですか。

〔「はい」と言う人あり〕

○山田一裕会長 それでは、報告事項2、令和元年度滝沢市水道事業の進捗状況については以上といたしますが、ご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○山田一裕会長 ありがとうございます。それでは、引き続き下水道事業のほうに移ってよろしいですか。

〔「はい」と言う人あり〕

○山田一裕会長 それでは引き続き下水道事業の議事に入らせていただきます。報告事項の3、平成30年度滝沢市下水道事業会計決算についてを議題といたします。事務局よりご説明お願いいたします。

○古前田下水道課長 下水道課長の古前田です。よろしくお願ひいたします。座って説明させていただきます。

平成30年度滝沢市下水道事業会計決算についてということになります。資料1から4になります。資料2と資料3、そちらのほう資料1の決算概要というふうにもまとめておりますので、資料1で説明させていただきたいと思ひます。

資料1おめくりください。平成30年度下水道事業会計決算概要につきまして、業務の概要といたしまして、平成30年度末の汚水処理区域内人口は、前年度より683人増の3万7,569人で行政区域内人口に対する普及率は、前年度より0.9ポイント増の68.1%となりました。また、水洗化人口は3万5,795人で、処理区域内人口に対する水洗化率は95.3%となっております。

整備面積は前年度より8.5ヘクタール増の760.4ヘクタールで、事業計画面積に対する整

備率は91.6%となっております。

汚水の年間総処理水量は前年度より9万7,477立方メートル増の417万9,341立方メートル、有収水量が前年度より2万4,310立方メートル増の322万2,516立方メートルとなっております。この結果、有収率は前年度の78.4%と比較して1.3ポイント減の77.1%となっております。この中で不明水量が平成29年度より7万3,167立方メートル増えております。そのせいと思います。有収率77.1ということです。

2番、決算概要になります。1の収益的収支、営業収益は7億7,250万8,635円、営業費用は8億6,181万2,895円で、この結果営業損失は8,930万4,260円となっております。営業外収益は3億1,757万662円、営業外費用は1億786万8,305円で、この結果営業損失に営業外収益と営業外費用を加減した経常利益は、前年度より5,472万3,000円減の1億2,039万8,097円となっております。また特別損失、特別利益とも計上されなかったことから、当期純利益は経常利益と同額となっております。

2ページの表2、収入のほうをご覧ください。数字の加減があったところということで、まず下水道営業収益、下水道使用料ですが、昨年4月下水道使用料の改定を実施しております。そのため1,740万円ほどの増収ということになっております。

ちょっと下のほうに行ってくださいまして、営業外収益2行目の長期前受金戻入益、こちらですが、平成29年度に一括収益化を行っておりますため、30年度と比較して8,900万ほど減っているという形になっております。長期前受金のほう、こちら現金を伴わない収入ではございますが、29年度こちらのほうで収益が上がっているために30年度収益が減っているという形でございます。

3ページをお開きください。資本的収支でございます。資本的収支は資本的収入が3億5,582万4,940円、資本的支出が7億5,885万62円であり、資本的収入が資本的支出に不足する額4億302万5,122円は当年度分消費税及び地方消費税基本的収支調整額2,721万9,048円、減債積立金1億5,780万6,383円、当年度分損益勘定留保資金2億1,799万9,691円で補填しております。

4ページ、事業報告となります。30年度実施いたしました事業といたしまして、まず環境にやさしく快適な下水道整備ということで、汚水管渠整備工事（小岩井地区）、管路施設詳細設計業務（巣子・滝沢駅前地区）、舗装復旧工事（小岩井地区）、管渠更生工事（鵜飼西地区）取付管カメラ調査業務等を行っております。

安全・安心な雨水排除施設の整備ということで、雨水幹線工事、巣子地区になりますが、

そちらのほうを実施しております。

3番、下水道経営基盤の充実ということで、不明水対策といたしまして、人孔鉄蓋交換工事（穴口地区）を実施しております。

資料4のほうをお願いいたします。水道事業と同じように決算審査受けております。その中で監査委員のほうから指摘、審査意見等ございます。52ページという表記のページになります。第6審査意見の中身になりますが、中身としましては平成29年度とほぼ同様の意見という形でございます。資料4の52ページです。その中で、例年と同じではあるのですが、やはり起債償還等に多額の資金を要しているということで、下水道の事業、流動比率のほうがあまり芳しくないということがございます。そのため資金力が弱い体質だということをご指摘されておりますので、災害時、先ほど上水道のほうでもご指摘あったように、災害時や施設の突発的な大規模故障に支障が生じる懸念があるという指摘を受けております。

恐らくこちらも昨年度と同様ですが、小岩井処理分区において今実施しておりますが、接続率があまり上がっていないという状況に関しまして、そちらのほう努力を怠らず接続率を上げるようにという指摘を受けております。

そのほか経営基盤の強化のほうを図るということも監査委員のほうからご指摘されております。

以上で、決算についての説明を終わらせていただきます。

○山田一裕会長 ありがとうございます。ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問がある方からお願いいたします。

はい、お願いいたします。

○佐藤定美委員 今お話しありました小岩井地区の接続率が低いというお話しでしたけれども、これ要因は何ですか。

○古前田下水道課長 こちらは、ますのほうの接続まではしていただいているところが、6割、7割、ますまでは入れていただいているのですが、その後ますにつなぐ工事、やはりこれ実費のほうになりますので、高齢のご夫婦のところとか、次にその家を継ぐ人がないようなところの場合にはちょっとお金かけるのがと。あとはそもそも経済的理由でやはりちょっとつなぐのが厳しいということがございまして、伸び悩んでいるところがございます。

○佐藤定美委員 接続率どのぐらいなのですか。

○古前田下水道課長 現状で、こちらのほうでは今56.7と書いておりますが、大体やはり半分ちょっと欠けるぐらいです、49%ぐらいだと思います、今現状だとそういった形になります。

○山田一裕会長 お願いします。

○及川安委員 小岩井については、やはりやり方をもうちょっと考えないと。例えば今まで何十年にわたって、自治会で毎年要望してきたわけですよ、やれやれと、決議文書まで出して。やっぱりここは個人個人回って歩くのも大事ですけれども、やっぱり自治会としてももうこれ何十年と要望してきたわけで毎年。さらに懇談会まで開かせられて、だからやっぱり自治会としても動いてくれという働きかけもしていいのではないですか。

○古前田下水道課長 そうですね。

○及川安委員 でないとだまされたような感じ、悪い言葉でいえばね、やれやれと、協力します、やれやれと毎年言ってきていて半分って、ちょっと約束が違うのではないですかとまでは言わなくても、もうそれと近いことを言っても、本来市街化区域ではないから、無理にやらなくてもよかったことをわざわざやっているわけですよ、こっちが。あちらでやってくれという強い要望によって。そして、つながないというのは何か行政としても若干もやもやとしたものあるのではないですか、いかがですか、部長さん。

○山田一裕会長 はい、どうぞ。

○太田上下水道部長 小岩井地区の市政懇談会ということで私も行ってきたのですが、やはり下水道を要望されている方というのは一部その声の強い方なのかなと。小岩井の地区でも温度差がかなりある感じですよ。ですから、あつたほうがいいのは確かなのです。ただ、実際入れるとなれば個人負担があるということで、その辺のギャップですね。

○及川安委員 行政としても乗せられてしまったのですか。

○太田上下水道部長 いや、まあ、誰がやったというような話にはなるのですけれども。

○山田一裕会長 ちなみに、委員の皆様にも、一般的な下水道の接続率というのは90%なのですよ。ということは今半分ぐらいしかないというのは、その乖離がやっぱりあまりにも大きいので、結局これ税金で払っていきますから、その負担をやっぱりこういう形で終わらせるのも余りよろしくないのではないかとご指摘です。自治会をもう少し介入させてもらって、何とか接続していただけるような方向を働きかけをしていただければなという意見は持っていました。根気強く、根気強く。やっぱりそういうサービスも事業者として提供しているわけですから、そのサービスを利用していただけるような働きかけを何と

か根気強くしていただければなど。

○太田上下水道部長 小岩井地区については1期、2期という計画がありまして。ただし、1期がそういう状況で、2期はもっと厳しい区域なので……

○山田一裕会長 2期今止まっていますよね。

○太田上下水道部長 止まっています。今年度中には方向性はきちんと決めて地域のほうに説明をしていく予定にはなっております。

○山田一裕会長 お願いします。

○工藤恒夫委員 今小岩井の話が出ましたけれども、49%ね。これ、実際は浄化槽をつけている世帯も結構あるのですよ。そうすると、浄化槽を含めるとどのくらいなのか。

○古前田下水道課長 今やっている第1期のほうが大体四百、五百いかないぐらいの世帯数があるのですが、そちらのほうですと大体7割、8割は浄化槽が恐らくついています。

○山田一裕会長 単独浄化槽。

○古前田下水道課長 個々の家の合併浄化槽であります。

○山田一裕会長 合併も入っているの。

○紺野光子委員 単独は今はいませんので。

○山田一裕会長 昔入っていたのがそのままずっと残している場合もあるので。

○紺野光子委員 今は設置できないです。

○山田一裕会長 それはね。

○工藤恒夫委員 それを考えれば、今七十数%というお話ありましたけれども、国とか県の方針も下水道事業というのは結構お金かかるから、もう下水道ではなくて、どうしても費用負担がかかって普及できないところは浄化槽に切り替えても構いませんよといったのが何かあったような感じでしたけれども。

それを考えるとしゃにむに浄化槽ついているところまで下水道をやらないとだめだよとするのではなくて、ちょっと見直しとか、時間かかるのだけれども、その辺を考えるのも一つの方策ではないかなと思うのですけれども。

たまたま私そっちの建築のほうの仕事しているもので、検査に行ったりすると大抵が浄化槽つけているのです。それ考えれば、浄化槽でいいかなと感じなのですからけれどもね。その辺でちょっと見直しするというのはどうなのでしょう。

○山田一裕会長 これ部長、はい。

○太田上下水道部長 下水道の整備区域を計画する上でそういう集合処理が有利な区域な

のか、それとも個別の浄化槽でやったほうが有利な区域なのかということで、一応比較検討して、集合処理のほうが効率的だということ、そういった結果を受けて計画はしている。

ただ、それも結局は接続率によって全然違うわけです。だから、最初はそういう計画はしたものの、実際どのぐらいの接続があれば費用対効果というのが得られるかということについて、その辺でまた更に区域の見直しをしていくという。これから人口も減っていくということもありますので、なかなか集合処理が有利だという区域は本当に少ないというふうに考えております。浄化槽を普及させるとなると放流先の確保とか、そういった別の問題も出てきますので、それも併せて検討はしていかなければならないというふうに考えてございます。

○山田一裕会長 ありがとうございます。

ほかいかがでしょうか。

ちょっと2点ほど。資料の1の4ページのところに示されている①の中の汚水管渠建設事業についての入札不調で持ち越されていますね。この件について何か具体的な改善策といますか、行動といますか、予定されていることとというのはありますか。

○古前田下水道課長 このときの入札不調は、こちら前課長のときになるのですが、このときに調べた結果は工事を出すタイミングが悪かったということで、ちょっと引き受けられない、こういうような実情だったということになっております。

本年度ですね、不落になった、入札不調だった件に関しましては、年度を越す前に3月に入札を、早い時期に入札をかけて繰り越し事業として契約だけは30年度で契約するなど、ちょっとそういう入札時期を見直すというようなことを考えて、今は実施しているという状況でございます。

○山田一裕会長 そうすると、その時期を考慮して本年の実施が進んでいるということですね。

○古前田下水道課長 はい、そうです。

○山田一裕会長 ありがとうございます。あともう一つは、③のこのマンホールですね、マンホールの交換したことによって、不明水対策としての効果は出ていますか、どうでしょう、何かそういう情報があれば教えてほしい。

○古前田下水道課長 実情ですね、今効果のほどはわかりません。耐用年数越えたもの、あと明らかに水とか穴とかが大きくなっていて、水が確実に入っているといったよう

なものを交換しているということになっております。

今不明水を考えているところですが、整備がちょっと今下水道のほうは金がないというのでもあるのですけれども、整備のほうがある程度いつてからでないと、不明水対策のほうに多分持っていけないというような実情でございます。

○山田一裕会長 何となくエリアだけでも決めて、一斉に交換して確実にここの不明水が軽減されたというような情報があるなら、非常にその後の計画立てやすくなるのではないかなと思うのですけれどもね。

○古前田下水道課長 今国のほうか民間のほうで、液を流して管の中を通った液がその下限を通っているときと上限を通ったときに印がつくような、コストがかからないで雨のときはではどういう印がつくとかという研究をなさっているみたいですので、ちょっとそういう低コストのものが出てきたらエリア、あとある程度今やっている整備工事ですね、整備工事やっているところはやはりどうしても水量増えてきますので、やっていないところに限ってそういったものが導入できないかなということは考えております。

○山田一裕会長 わかりました。何か情報がありましたらご紹介お願いします。ありがとうございます。

ほかいかがでしょうか。

〔「なし」と言う人あり〕

○山田一裕会長 それでは、ないようですので、報告事項3、平成30年度滝沢市下水道事業会計決算については以上といたしますけれども、ご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○山田一裕会長 ありがとうございます。

それでは、続きまして報告事項4、令和元年度滝沢市下水道事業の進捗状況について、事務局より説明をお願いいたします。

○古前田下水道課長 下水道事業の進捗状況ということで、資料5のほうで説明させていただきたいと思っております。

資料5の1ページ目ということで、総合計画に載っております政策、基本施策等載っております。元年度の総合計画に関しましては平成30年度と同様といったもので行っております。

2ページ目になります。主な主要事業ということで、(3)番の説明することになります。汚水整備事業ですが、2億7,000万ほどの実施をしております。今話題になりました

小岩井地区、あとは新しく市街化区域になりました巣子・大崎地区、こちらのほうの汚水整備工事を進めております。汚水改築事業といたしまして取付管改築更新工事、こちら滝沢ニュータウンのほうのZパイプのほうの更新工事をやっております。また、例年やっておりますマンホール蓋の交換、あと中継ポンプの制御盤更新工事、篠木・大沢地区の2カ所ほどやっております。

続きまして、雨水建設事業となりますが、雨水整備事業2,000万ほど予算となっておりますが、こちらのほう現在大釜地区のほう、国との河川への放流等の協議等に時間をちょっと要しております、事業計画の変更自体が今年度いっぱいかかるだろうということで、この実施設計のほう、来年度に繰り越すと、令和2年度に繰り越すという予定でございます。

続きまして、維持修繕事業、汚水施設管理ということになりますが、維持修繕事業367万2,000円ほど使用しております。こちらのほうも毎年度同様のもの実施しております。

あと合併処理浄化槽補助事業、こちらのほう41基、本年度補助しております。予算のほう上限になりましたので、今年度のほう、この補助事業のほうは終了いたしております。

続きまして、下水道事業予定損益計算書、予定貸借対照表、予定キャッシュ・フロー計算書とございますが、予定損益計算書の中で来年度の経常利益、純利益のほう、今年度より4,000万ほど少なくなるという見込みでございます。その中身としまして営業損失のほうが増えるということになりますが、管渠費、流域下水道管理費、こちらのほうが流域さんのほうで単価今44円のところ、48円単価値上げが予定されているということで、年間2,000万ほど増えるという予定になっておりますので、そちら費用のほうが増えるということで、利益のほうちょっと減るといった形でございます。

以上、令和元年度の事業の進捗状況ということでございます。

○山田一裕会長 ありがとうございます。

ただいまご説明いただいたことにつきまして何かご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

○古前田下水道課長 申し訳ございません。今間違えました。流域下水道の管理費、維持管理費ではなくて建設負担金のほうが少し増えるということでございます。申し訳ございません。維持管理費増える予定なのは次年度でございます。失礼いたしました。

○山田一裕会長 ありがとうございます。

ご質問がございましたらお願いいたします。

はい。

○紺野光子委員 資料5—1の中の上のほうに囲みがあって、雨水についてなのですからけれども、あちこちでは立派なU字溝ついているのですが、昭和48年というふうに私に言わせれば入植した団地の中では雨水の流れるところがないのですよ、全くというほど。その中で浄化槽をつけるということで、自分のうちの目の前のちっちゃなU字溝に流しているのですが、普段水が流れないから全く意味がない。

もう一つ、U字溝がないために自分の屋敷の中に雨水が全て入って行って、大変なことになっている。そういうところ、大きい自治会単位でお話しできればいいのですけれども、昔から言わせると部落外の間人だったもので、自分のことは自分でやらなければならない。その都度こうお話しはしていましたが、こういう場でのお話しは今まで一度もしたことございません。

それで、今後の問題として私たちはあそこにまだまだ自分たちの次の世代も住むということになっていますので、ぜひU字溝をつけて雨水の通る道、自分たちの宅地に水が入らないような形。道路は役場というか、市役所にもう寄贈になっているはずですので、何とかそういうところを予算つけてやっていただけないのでしょうか。

○山田一裕会長 お問い合わせいたします。

○太田上下水道部長 市道になっているのですか。

○紺野光子委員 私道になっていますか。道路は私道ではないんじゃないのでしょうか。

○太田上下水道部長 滝沢市道ではない。

○紺野光子委員 すみません、私道ではなくて市道、滝沢市。

○太田上下水道部長 市の道路。

○紺野光子委員 そうです。

○太田上下水道部長 雨水事業のほうでやるのはちょっと無理です。

○紺野光子委員 そうなのですか。

○太田上下水道部長 雨水事業の場合は、あくまでも市街地の雨水排除ということで……

○紺野光子委員 大きい。

○太田上下水道部長 市街化区域をやらせていただいているので。その場合だと道路管理者というか、道路課のほうの……

○紺野光子委員 橋渡ししていただけないですか。

○太田上下水道部長 あそこの団地全体の、今U字溝が入っていないということですか。

○紺野光子委員 私のうちの目の前は入っていますけれども。ほとんど入っていないとこ

ろが多いです。つまり水が全く流れないU字溝であった。

○太田上下水道部長 放流先がうまく流れない。

○紺野光子委員 放流先もあるところもあれば、全くないところもある。

○山田一裕会長 今日は別なので、個別にさせていただいて、ただ同じような疑問で雨水排除の問題とか、あるいは汚水処理とか、水絡みでいろんなお悩み事が各地域にいろんな事情があるかと思うので、そういう問題についてどういう部署が担当なのですよとか、あわせて広報でお伝えするような工夫はあってもいいのではないかと思います。

○紺野光子委員 橋渡ししていただければすごく助かります。私ごときが言うことじゃ、大きな長が言うべきことなのですからけれども、申し訳ございませんが。

○及川安委員 道路に入っている側溝というのは、浄化槽の水流すために作っている側溝ではなく、あくまでも道路の水を流すためであって、それをたまたま浄化槽で利用させてもらっているだけで、浄化槽やるためにわざわざ側溝入れないので、たまたまあるのを使わせてもらうという形ということなので……

○紺野光子委員 私も浄化槽の国家資格持っていますので、そこをすると流れるのですかと聞いたら……

○及川安委員 あとは流れ先がないところというのは、大体工事作ったときの団地そのものに問題があるのではないですか。

○紺野光子委員 それはそうです、確かに。

○及川安委員 だからもし市道になっているとすれば道路課に行って相談なのでしょう。

○太田上下水道部長 はい。

○及川安委員 この人たちはどうにもできないもの。

○紺野光子委員 橋渡ししていただければ、すごくありがたいと思っております。ちょっと少しずれて、雨水の問題が出たので……

○山田一裕会長 ここの議論ではないので、ただ水絡みでいろんな事情、いろいろと担当できる部署がやっぱり市民側から見てわからないので。

○紺野光子委員 そうです。

○山田一裕会長 それをやっぱりうまく紹介といいますか、アクセスできる何かガイドをしっかりと広報の中でやっていただきたいということだけ確認していただければいいと思います。

○太田上下水道部長 ご相談いただければ橋渡しはさせていただきます。

- 紺野光子委員 ありがとうございます。よろしくお願いいたします。
- 山田一裕会長 ありがとうございます。
- ほか何かございませんか。
- どうぞ。
- 及川安委員 汚水処理率というのは、例えば浄化槽、今六十何%公共下水道があるとかいて書いていたけれども、浄化槽まで入れると何%ぐらい入っているのかね、浄化槽まで入れると、パーセンテージで全体として。
- 太田上下水道部長 80ぐらいですね。85ですね。
- 及川安委員 ただ、公共下水道だけの率で見るとあれ、低いなと思うけれども、浄化槽を入れないと一般的には……
- 太田上下水道部長 浄化槽は17.3ぐらい。
- 山田一裕会長 ちなみに、今浄化槽の設置云々で、新たに導入をされる世帯の特徴というのは何かあるの。例えば県からの41基設置されましたけれども、それは今まで悩んでいたけれども、ようやく入れようとしたのか、あるいは新たに入居を始められて当然そういうものは入れるものだという認識で入れられたのか、どんなものなのでしょうか。
- 古前田下水道課長 今年度は新設のお家のほうが多いです。
- 山田一裕会長 やっぱり新築はやっぱりあれだ。
- 古前田下水道課長 できれば、汲み取りの方が変えてもらえたほうが一番私達は好ましいかなとは思っています。
- 山田一裕会長 その件数というのは、今回はそんなに入っていないのですか。
- 太田上下水道部長 既存住宅はリフォームとかそういうタイミングでないと難しいですね。
- 山田一裕会長 今でなくて結構なので、もしそういう事例があって切り替えられたご家庭の何か切り替えるきっかけになった情報があれば、また今後切り替えていくときの計画に反映できるのかなと思いますので、ちょっと参考にさせていただければなど。ありがとうございます。結構です。
- 古前田下水道課長 申し訳ありません。ちなみに、既存が11基、新築が30基。
- 山田一裕会長 でも、11基あるものね。やっぱりちょっと何かそのところの何か情報が欲しいですね。ありがとうございます。
- 及川安委員 昔はですね、大体五、六月ころになると、おじいちゃんのおうちボットン

で怖いと孫が来ないので、改造するという人が六月とかですかね、お盆に、お盆前にやっ  
てしまいたいという人は結構あったね、怖くて孫が来なくなってしまったと、トイレが怖  
いと。

○山田一裕会長 ありがとうございます。

それでは、報告事項4、令和元年度滝沢市下水道事業の進捗状況については以上といた  
しますが、ご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○山田一裕会長 ありがとうございます。

それでは、報告事項の5、社会資本総合整備計画の事後評価についてを議題とします。  
事務局より説明をお願いいたします。

○古前田下水道課長 では、下水道資料7をお願いいたします。

こちらのほう社会資本総合整備計画の事後評価ということになります、社会資本総合  
整備計画でございますが、国のほうから補助金等をもらい、下水道の工事等……

こちらのほう、先ほど申しましたが、補助金等をいただくために作った計画でございま  
すが、現在は岩手県のほうの社会資本総合整備計画、こちらのほうに一元化されておりま  
して、現在では市単独のものはないということになります。本来平成27年から平成32年ま  
での5カ年の予定でしたが、平成30年に県のほうに一元化されましたので、平成29年度ま  
での3年間分の実施したものについて事後評価が必要ということになっております。

平成29年度ということですが、平成29年度の事業、繰り越しのものがございましたので、  
30年度に終わるとい形ですので、今年度、元年度に事後評価いう形です。主な事業の内  
容でございますが、4番の計画概要になります、幹線・枝線の整備ということでやって  
おりますが、こちらのほう平成27年に8件、平成28年に5件、平成29年度に5件の整備の  
工事をやっております。

続いて計画の策定、こちら平成28年にアクションプランの策定ということで1件実施し  
ております。

排水設備工事費用等助成、こちらのほうは通年で平年どおりやっているものですので、  
3カ年分の費用の助成ということです。

目標と成果ということですが、この計画を立てる際に目標を設定しております。その目  
標といいますのが平成27年に58%になった下水道水洗化率を平成31年までに64%にする  
というものでございました。平成29年、途中で終わっておりますので、平成29年度の途中か

ら目標値ということになりますと、62%というのが目標値ということでございます。実績値ということになりますと、64.1%の実績ということになりましたので、目標は達成したということになります。先ほど言いましたその工事の中身ですが、巢子地区、鶉飼地区及び小岩井地区の下水道の工事ということになっております。

今後の方針と書いておりますが、方針といいますのも市単独のものではございませんので、市単独のものに反映させるということではできませんが、方針といたしまして引き続き各事業を進めることにより、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造するというのも引き続き今後の方針ということにしております。

今回こちらのほうをご報告いたしまして、あと今岩手県のほうにも同様のものを提出しております。そちらのほう、返答が来ましたら滝沢市のホームページのほうにこの結果を公表するという形でございます。

以上となります。

○山田一裕会長 ありがとうございます。

それでは、ただいまのご報告につきましてご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

○工藤恒夫委員 この5番の目標と成果の実績値についてですが、人口は増えて総人口は減っているということですね。

○古前田下水道課長 はい。

○工藤恒夫委員 だから、おじいさん、おばあさんが自然減して、そしてそれぞれ3万5,225人とふえているということは、区域は広がっているわけではないでしょうから、たくさん子供が生まれたということですか、引っ越してきたりとか。

○古前田下水道課長 その計画値のほうは、人口のほうはこれ5万5,575、推計の恐らく人口ですので、まだこれは平成29年は5万5,500にはなっていないはずですので、その比較で行きますとちょっとこの実績値のほう、これ5万4,912は本当の人口ということになりますので、ちょっと分母が違うので少し見目が違いますが、数字的には計画値を目指していたということになります。これが29年度62%を目指したときの計画値がこの61.7ということになりますので。

○山田一裕会長 これ表示されるときに推定値であれば、そういう記述をしておいたほうがいいかもしれないですね。見込みですね。

○古前田下水道課長 県のほうに提出しているのをそのまま落としている形なので、次回

もしあればもうちょっとわかりやすいようにさせていただきます。

○山田一裕会長 わかりました。どうしても一人歩きしてしまうから、こういう数字は。

○工藤恒夫委員 3万5,225人ではその区域の現在の人口ということでいいのですか。

○古前田下水道課長 これはそうですね、計画区域内の人口が3万5,225人になります。

○山田一裕会長 計画区域内で下水道を利用している人口が3万5,225人となっていると。

○古前田下水道課長 そうですね、はい。

○山田一裕会長 ほかいかがでしょうか。

県の事業に変わったと。

○古前田下水道課長 計画に乗ったと。

○山田一裕会長 乗ったということですね。

○古前田下水道課長 要は、今まで単独のサイズだったのが県に一元化してサイズが大きくなったので、その中で融通が市町村同士できくという形に。

○山田一裕会長 ありがとうございます。計画的に進めていただければと思います。

では、特にないようでしたら報告事項5、社会資本総合整備計画の事後評価については以上といたしますが、ご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○山田一裕会長 ありがとうございます。

それでは、以上で報告事項の議事が全て終了しましたので、続けて審議事項に移ります。

## (2) 審議事項

ア 令和2年度滝沢市水道事業会計予算基本方針について

イ 令和2年度滝沢市下水道事業会計予算基本方針について

○山田一裕会長 審議事項1、令和2年度滝沢市水道事業会計予算基本方針についてを議題といたします。事務局より説明をお願いいたします。

○斉藤水道総務課長 それでは、水道資料4ということでこちらで説明させていただきます。

最初の1ページから3ページまでについては大きい、ビジョン的な経営計画のほうですので、ここは読んでいただくこととして。

そして、4—4ページです。令和2年度の主な事業ということで説明させていただきます

す。安心・安全については、柳沢水源管理施設整備、水源保全ということで浄化槽等を使って水源保全をしていく、水質管理は引き続き水質検査の実施して、貯水槽水道の管理指導等については、水道のほうにも管理指導の責務がございますので、これについては情報提供や指導を引き続き行っていきます。

断水範囲の縮小でございます。これは管路更新にあわせて水の管路、仕切弁の整備を行っていくということになります。

安定・強靱については、これも引き続き計画に基づきながら老朽管、水道施設の更新を行います。配水管もあわせて耐震管等を行っていきます。

真ん中辺に管路耐震化率とって29年度から元年度、そして来年度に前年度と同じ計画と実績値を載せております。

経年管更新事業につきましては老朽管の布設替えが4,000メートル、消火栓4基というようなことで、計画を実施していきたいと思っています。

めぐりまして、4—6ページですけれども、先ほどちょっと話ありました漏水対策事業、これ重点事業になっております。こちらにつきましては、配水区域のブロック化を行いながら、そこを発見というか、調査していくということになります。これによりまして、有効率を計画値、2年度まで、4カ年で93.5ですので計画値に近づけるように頑張っけていきたいと思っております。

連絡管整備事業は、先ほどお話しありました盛岡市さん及び雫石町さんとの連絡管整備実施協議等について進めていきたいと思っております。

環境・持続につきましては、顧客サービス、これにつきましても5年の包括委託でやっている、今年が中間年になりますので、次期の更新へ向けてモニタリングチェックなどをしながら、さらに顧客サービスの上がる業務委託に変えていきたいと思っております。

財政健全化につきましてはビジョン及び後期経営計画で財政シミュレーションを行っておりますので、それに沿った形、あと現状の配水管等々の建設関係の工事と進捗合わせながらやっていきたいと思っています。

あと人財育成と組織力の強化につきましては、研修事業を引き続き行うとともに、人事異動につきましては、本庁のほうの関係もございませけれども、同じような人員体制で臨んでいきたいと思っています。

最後に、官民連携・広域連携につきましても、周辺市町村、あと盛岡広域の検討会等々そういう場がございますので、その中で連携をさらに深めて引き続き取り組んでまいりた

いと思います。

以上になります。

○山田一裕会長 ありがとうございます。

それでは、ただいまご説明いただいた内容につきまして、審議したいと思いますが、ご質問、ご意見がございましたらお願いします。

はい、お願いいたします。

○田村武委員 4—6の顧客サービスの向上ということがございますが、ここの中の3番目に子供向けの水道事業の啓発活動とありますが、この子供向けというのはどれぐらいの年齢の子供さんに……

○斉藤水道総務課長 小学生の4年生とか5年生あたりの、浄水場の見学等も含めて、学校の副読本か何かで、その年代、学年あたりが対象になっていると。あと先ほどちょっとお話しした滝祭、産業まつりで配水管のほうに今回お絵かきしていただいて、水道と接する、水道管というか、水道事業に接する機会を増やすという意味で、それに来られる方は就学前の小さい子から中学生ぐらいの幅広い方たちに来ていただいているので、特定の年齢をターゲットにしているというわけではないのですけれども、就学している方が中心になると考えておりました。

○田村武委員 滝沢市をふるさとにしている子供たちにやっぱりもっと理解をしてもらうように、もし可能であれば中学校ぐらいとか、高校生はちょっと難しいかもしれないですけども、ちょっと上の人たちにすごくいい水のこのあれをもう少し教えたらいいかと思っただけだから、それで聞きました。

滝祭のときは何かもうまずやっているのは私も何年か見ているので、すごく皆さん喜んでいきますので、年齢層の低い人たちはどちらかというと遊びに来ているような感じだったので、やっぱりああいうような中学校ぐらいの分別がつく大きい人だったらもっと理解が進んで、もっと良いのではないかなと思ったものですから、そういう啓蒙活動もやれたらいいかなと思って。

○山田一裕会長 ありがとうございます。

何か実施されている大人向けといいますか、レベルの高い人たち向けの顧客サービス、ないしは広報活動はされているのでしょうか。

○斉藤水道総務課長 特には先ほどの滝祭、産業まつりで模型的なものを、配水管とか地震があった時の模型とか、それについては小さなお子さんだけでなく年配の方を含めて年代

問わず興味持ってやられていましたので、ある程度効果があるというか、水道ってこんなんだとか、そういう感覚は持っていていただいているのかなと。

○山田一裕会長 例えば私が住んでいます仙台市なんかでは、周辺の自治体もそうですけれども、よく水源地への見学セミナーというのですか、そういうのを催したりとかしているのです。ダムがあつたり川があるので、やりやすいのかもしれないですけども、滝沢市で水源を守るという意味も含めて何か広報的に働きかけるということは特にしていませんか。

○太田上下水道部長 昨年度、たしか水源めぐりのバスツアーというのは企画はして募集はしたのですが……

○山田一裕会長 どうですか。

○太田上下水道部長 10人とかそれくらいです。

○山田一裕会長 ああ、そうですか。まあ、根気強くやっていただければと思いますので。

○太田上下水道部長 余り興味深い水源というほどでもないし。

○山田一裕会長 なかなか形に見えづらいですからね。ありがとうございます。

ほかにいかがでしょう。

お願いいたします。

○工藤恒夫委員 4—4の安心・安全です。安心・安全の丸ポツの2つ目、水道のほうにも合併浄化槽の補助金というのがあるのがちょっと私知らなかったのですけれども、これって昔、ずっとやっているのですか、このくらい。1件ずつしかないですけども。

○太田上下水道部長 平成22年に水源保護条例ができたのですが、その後水源保全区域の中については水道のほうで補助しますということで制度が始まったと。

○山田一裕会長 もともと水道事業の中に合併処理浄化槽の普及の施策としては含まれているのですよね。水道のほうの、下水道事業ではなくて。

○太田上下水道部長 そうです。水源の保全区域で浄化槽設置される場合には、水道のほうで。

○山田一裕会長 ということでですね。

○工藤恒夫委員 水源保全区域に住んでいる方というのが結構いらっしゃるのですか。

○太田上下水道部長 少ないでしょう。

○工藤恒夫委員 結構少ないですよ。

○山田一裕会長 ただ、そのまま、さっきの話題じゃないですけども、雨水排除も処理

水も流すところがないエリアになってしまうので、結果的に地下浸透になってしまうと。ここは水源が地下水ですから、そこに不用意に、汚水ではないにしても不要なものがしみ込むという状況も避けたいという配慮というふうに認識しています。ありがとうございます。

ほかはいかがですか。

ちょっとこれはあくまでも提案程度なのですから、ちょっと細かいところで1点、4-2にマイクロマネジメントの実施とありますけれども、ちょっとあまり見ない用語だろうと思いますので、もし広報されるときにはわかりやすい用語に置き換えていただくことが適切かなと思いました。それが1つ目です。

4-3の顧客サービスの向上のところ、子供たちが学習云々あるのですが、滝沢市には大学も複数ありますし、教育者を育てる大学もあるし、いろんな意味でこういうノウハウを共有していただいてぜひ市政に反映できるような協力体制あるいはそういう方々のお手伝いをいただくような何か働きかけを今後のために進めていただきたいと思っています。

単純に言えば大学生にこういう事業があるのだけれども、一緒にやらないかとか、何かやっぱり若い人たちがこういう市政に触れてやっぱり自分たちの地域のサービスであり地域の財産、あるいは資源を守っていくことなのだということの働きかけを若いうちからやっておかないと、何となくさっきの浄化槽の下水道の接続率が悪い原因に、何かどんどん、どんどんそういう意識の離れが回ってしまいますような感じがして仕方ないのですよ。なので、こういった外部の方と協力をして計画できるような内容のものについては、ぜひ大学関係者に働きかけていただくことをお願いしたいというふうに思っています。

何かやっていたらしゃいますかね、県立大とか、盛岡大学とかね。

○太田上下水道部長 水道のほうでは特に。ただ、学生さんに対しては冬場の水抜きの出前講座ということで、水凍らせないように。

○山田一裕会長 やっぱり岩手県内から、本当に岩手県内広くから県立大学に学生がたくさん来ていますのでね、やっぱり第二のふるさととはちょっと言い過ぎかもしれませんが、何かやっぱり滝沢市の魅力を知った上でまた地元に戻るなり、首都圏に行くなり、働きに出るとね、何かやっぱりそういう魅力を伝える機会をもっとしてほしいなと思うのですよ。

○太田上下水道部長 若い方というのはあまり水飲まない、水道の水は飲まないですね。

○山田一裕会長 そうだね。

○太田上下水道部長 市とすれば、公共交通について、県立大とタイアップしているいろいろ進めているものもあります。

○山田一裕会長 そうですか。ぜひ何かアイデア出していただければと思います。ありがとうございます。

ほか皆さんのほうから何かございますでしょうか。

計画どおり進めていただいているということでよろしいですね。

〔「はい」と言う人あり〕

○山田一裕会長 ありがとうございます。

それでは、審議事項1、令和2年度滝沢市水道事業会計予算基本方針については了承といたしたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○山田一裕会長 ありがとうございます。それでは、ご異議なしということでございますので、本事項については了承ということといたします。

それでは、続きまして審議事項2、令和2年度滝沢市下水道事業会計予算基本方針についてを議題といたします。事務局より説明お願いいたします。

○古前田下水道課長 下水道事業の資料6をご覧くださいませ。

令和2年度の総合計画と基本方針、施策等は大きな変更点はございません。

ですので、2ページのほうの主な事業のほうから説明させていただきたいと思います。

令和2年度の事業でございますが、下水道整備事業（汚水）ということで、各工事実施する予定です。小岩井地区管渠整備工事、これ小岩井第1期工事の最終年度の工事ということになります。ここで一旦区切りということです。巣子、大崎地区の管渠整備工事、そちらは令和3年度の工事となります。今やっています工事、仮復旧の部分でございますので、本復旧、その舗装復旧工事のほうも予定しております。

令和元年度とここがちょっと違う計画の変更の業務ということでございますが、こちら全体計画、事業計画が令和3年度変更の年という形になっておりますので、令和2年度からコンサル等を交え計画等をしていきたいと考えております。

続きまして、下水道改築事業になります。こちらのほうも引き続きのものがございます。鶉飼西地区取付管改築工事、Z管、Zパイプですが、こちらのほう令和2年度も引き続き実施してまいりたいと思います。あと巣子第1、第2マンホールポンプの改築工事、穴口、

鵜飼西地区のマンホール蓋交換工事を予定しております。次のアセットマネジメント計画策定業務、こちらも令和元年度にはない業務ということになります。令和2年もしくは令和3年度へ向けて下水道事業のほう、アセットマネジメントのほうを策定したいと思っております。本年度その頭出しということで骨子的なものを、どのようなシステムが必要かとかそういったものをちょっと洗い出す作業を今年度やっておりますので、それを踏まえてプロポーザルをかける等実施していきたいと思っております。

次に、排水設備設置工事補助事業、こちらも例年やっているものでございます。補助対象戸数50戸を予定しております。

次に、滝沢市水洗便所改造資金利子補給事業、こちらも例年やっているものでございます。来年度は新規融資斡旋見込み6件、あと現在も斡旋しております14件込みで16万6,000円を予定しているということでございます。

次に、合併処理浄化槽事業関係になります。個人が41件終了いたしました、合併処理浄化槽設置整備補助事業ですが、来年度は50基を見込んでおります。

次に、滝沢市水洗便所改造資金利子補給事業、こちらも例年どおりそのままでございます。新規融資斡旋見込み1件、現在継続しているもの2件、合わせて2万1,000円を見込んでいるところでございます。

最後、6-4になります。すみません、こちらのほう訂正のほうお願いしたいと思えます。一番最後です、雨水整備事業。20万円と書いてありますが、こちらは2,000万円ですね。20,000千円になります。申し訳ございません。訂正よろしくお願いいたします。

雨水のほうの事業ですが、元年度のご説明しましたが、現在大釜地区のほう、国との協議中でございます。こちらのほう、コンサルのほう、委託業務のほうが今年度実施できないということで、令和2年度に実施する見込みでございます。

以上、基本方針になります。

○山田一裕会長 ありがとうございます。

それでは、ただいまご説明いただいた内容について審議したいと思います。ご意見、ご質問がございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

お願いいたします。

○田村武委員 この災害に強いまちだと感じている人の割合とか、パーセント書いていますけれども、ここもう少しちょっと中身を教えてほしいのですが。

○古前田下水道課長 これですね、総合計画のほうの指標でございまして、こちらのほう

でアンケートを実施しておるものでございます。ですので、項目的にまずこの項目が載っていて返答を求めているもの、その指標を雨水のほうに取り込んでいるという形ですので、具体的にと言われると大分大きな範囲だと思います。

市民の皆様が漠然とといいますか、概略的なものでこの市は安全なのかなというのに対して返答をいただいているものですので、ピンポイントで下水道とか雨水ということではないものです。

○田村武委員 そうすると、まず半分ぐらいの人が安全だと思っていない人が……

○古前田下水道課長 いるという。

○田村武委員 滝沢ではそうなんだ。わかりました。

○山田一裕会長 ほかはいかがでしょうか。

では、私から6-2の数字で排水設備設置工事補助事業がありますが、先ほどご報告のあった小岩井地区での活用状況はいかがでしょう。

○古前田下水道課長 活用状況なのですが、結局浄化槽が多いということで、その浄化槽のあるあたりにますを設置するという形が大概になっております。そうしますと、1メートル当たり5,000円ということですので、大概メーター数を稼げないで接続をしてしまうおうちが多いということなので、では補助使うかというのと余り使われていないというのが現状です。どうしても距離がやはりあるよということであれば、補助の金額も2メーターなら1万円というふうになっているのですが、本当は1メーター以内、2メーター以内というものがちょっと多い状態です。

○山田一裕会長 ますの設置そのものも事業として骨子で張り出して……

○古前田下水道課長 ますの設置まではしない。

○山田一裕会長 しないのですね。そこからがきついです。

○古前田下水道課長 そうです。

○山田一裕会長 わかりました。ありがとうございます。

あと、ではもう1点だけ。確認がてらなのですけれども、先ほどやっぱりこの汚水処理において不明水対策というのが経営的に見ても非常に重要な対策の一つだと思うのですけれども、マンホールの交換事業がありますけれども、その他不明水に対しての何か取り組みというのは予定はされたのかな。

○古前田下水道課長 現状ですとある程度老朽化、危険度が高いところに対してカメラ等のものは入れております。本来であると危険度とかそういったものが3レベル以上のもの

というものは、早急に工事が必要という形にはなっているのですが、現状今うちのほうでは老朽度、危険度みたいなのが4。なので、3より1つ上のものに関しては今計画を立ててやっている状況です。

ただ、その3のほうですね、やはりちょっと今お金の話とかして恐縮なのですが、予算上その3のほうまではかけてられないといった形ですので、4が終われば次に3のレベルのものということで、そういった古い管のほうにはしていきたいと。

ただ、その先ほど議題のありましたピンポイントで不明水をどう見つけていくかというのは、やはりちょっと検討していかなければならないなと思っています。

○山田一裕会長 たぶん他の自治体さんも同じ事情を抱えていらっしゃると思いますので、ぜひ情報交換していただいてよりよい技術であればぜひ運用していただいて、検討していただく方向でお願いしたいなと思います。ありがとうございます。

ほかの方いかがでしょう。

お願いいたします。

○工藤恒夫委員 6-2の下水道改築事業でアセットマネジメント、今回からという話を……

○古前田下水道課長 えっ。

○工藤恒夫委員 今回から。

○古前田下水道課長 アセットマネジメントのほうは、今年度から手をつけていますので。

○工藤恒夫委員 元年度からね。

○古前田下水道課長 はい、元年度から。この計画策定業務自体は令和2年度からですが、アセットマネジメントに対する行動というのは今年度から行っているということです。

○工藤恒夫委員 そうすると、計画策定というのは滝沢市内全域ということですか。

○古前田下水道課長 滝沢市のそうです、下水道。

○工藤恒夫委員 下水道全域。

○古前田下水道課長 はい。エリアを決めるところをはっきりさせないとちょっと長期の展望ができないということですので、エリアを決めるところから入っていくということになります。

○工藤恒夫委員 すると具体的にはあれですか、調査委託会社がここは大体何年たったかということをお今の資料を滝沢市さんからいただいて、調べるということなのですね。

○古前田下水道課長 そうですね。その一端をやっていただく形になりますが、結局30年

後なら30年後、どういった形が好ましいのかというのもございますので、今の規模でやれるかというような検証をして、ダウンサイジングできるのかどうかといったところも検討して、計画を立てるということになります。

○山田一裕会長 よろしいですか。ありがとうございます。

それでは、審議事項2、令和2年度滝沢市下水道事業会計予算基本方針については、了承したいと思います。ご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○山田一裕会長 ありがとうございます。

それでは、ご異議なしとのことですので、審議事項2の本件については了承することといたします。ありがとうございました。

それでは、予定されておりました議事につきましては、これで終了させていただきます。

このほか委員の皆様から次回の審議に向けての要望やご意見がございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。よろしいですか。また、何かありましたらぜひ事務局にご意見をいただければと思います。

それでは、以上で本日の議事の一切を終了いたします。

会議の円滑な進行にご協力いただき、ありがとうございました。

進行を事務局にお返しいたします。ありがとうございました。

#### 4 その他

○高橋水道総務課主任主査 山田会長、委員の皆様、大変ありがとうございました。

それでは、次第の4、その他に入らせていただきます。

委員の皆様から何かございますでしょうか。

ないようですので、事務局からお願いします。

○太田上下水道部長 では、私のほうから1点、ご報告とお詫びということでお話しさせていただきます。

新聞、テレビ等でご覧になった方も多いかと思います。先般上下水道部の水道整備課の公用車1台につきまして、車検が切れた状態で使用していたという事案が発生しております。この件に関しましては市民の皆様を始め関係者の皆様にご迷惑をおかけいたしました。心から深くお詫びを申し上げます。二度とこのような事案を起こさないように再発

防止に努めてまいります。大変申し訳ございませんでした。

以上です。

○高橋水道総務課主任主査 それでは、最後に上下水道部長よりご挨拶をお願いいたします。

○太田上下水道部長 委員の皆様におかれましては、長い時間ご審議いただきましてまことにありがとうございます。本日いただきましたご意見等につきましては、今後の上下水道事業のほうに生かしてまいります。

また、今の委員様の任期につきましては2年間ということで、来年の令和2年の3月1日までというふうになってございます。公募で委員をお願いしておりました昆野さん、それから工藤さん、佐藤さんにつきましては、今回が最後の審議会なのかなというふうに思っております。お三方には特にも水道事業の後期経営計画の策定に関しましては非常にハードなスケジュールの中で水道使用者の目線から貴重なご提言をたくさんいただきまして、誠にありがとうございました。改めて感謝申し上げます。

今後におきましても立場は違うとは思いますが、いろいろな方面でまた上下水道のご支援をいただければ幸いに存じます。本当にありがとうございました。ということで、私からの挨拶といたします。ありがとうございました。

## 5 閉 会

○高橋水道総務課主任主査 それでは、本日の審議会は以上をもって終了とさせていただきます。長時間ありがとうございました。